

◎観瀾校のコミュニティ

地域の活力を生かし、地域の人々を学校に取り込むこと。つまり、地域の人々による学校支援のこと。

つなぐ 75号

小城市立小中一貫校
芦刈観瀾校
H30. 7. 20(金)
文責
中武、江頭

◆本通信は、地域の方々との連携による芦刈観瀾校の教育活動を保護者や地域の皆様にお知らせするものです。さまざまな取り組みによって子どもたちが「豊かな心と確かな学力」を育んでいく様子をお伝えしています。

6月、7月の暑い日も地域ボランティアの先生は大活躍！

暑期中、子供たちは一生懸命に学習活動に取り組んでいます。地域ボランティアの先生方も、その子供たちに負けないくらい一生懸命に関わってくださっています。額から流れる汗をぬぐいながら丸をつけてくださる方、「暑い」と言う児童に「暑いね。でも、ここまで頑張ったら、もっと素敵になるよ」と声をかけてくださる方、そんな地域ボランティアの先生方の姿に、職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

〈3年生〉習字の学習支援スタート！1年間お世話になります！

3年生の習字の時間に、3名のボランティアの方にご協力いただいています。子供たちの多くは、初めて習字の学習に取り組んでいます。姿勢や筆の持ち方、道具の置き位置など細かくアドバイスして下さるため、回を重ねるごとに上手になっています。また、作品のよくなったところに花丸をつけてもらえるので、とてもうれしそうにしています。

3年生の子供たちは、国語の学習で、地域ボランティアの先生方に暑中お見舞いを書きました。はがきには「ありがとう」の言葉がたくさん！子供たちも、ボランティアの先生方のありがたさをしっかり感じているようです。



〈5年生〉家庭科でたくさんのご支援をありがとうございます！

5年生の家庭科では、調理実習に2回、裁縫実習に4回も支援していただきました。

予習をしてやる気いっぱい臨んだ「ゆで野菜サラダ」の調理実習ですが、切り方やゆで加減など自信がなくなることもありました。そんなときは、ボランティアの先生方に質問し、どのグループも時間内に調理を終わらせることができました。川田先生に作ってもらった3種類のドレッシングをかけて、みんなで楽しく試食会を行うことができました。

4週にわたって行った裁縫実習では、玉結び、玉どめ、並縫い、半返し縫い、本返し縫い、かがり縫い、ボタン付けと、いろいろな縫い方を勉強し、最後には勉強したことを生かし、自分達で考えたオリジナルのマスコットや小物入れを作りました。なかなか思うように出来ず苦戦する子もいましたが、ボランティアの先生方にできたかどうか確認してもらいながら、頑張って練習をしていました。チャレンジカードの出来た項目に合格シールを貼ってもらい、「上手に出来たね！」とお褒めの言葉もいただきました。ありがとうございました。



〈4年生〉総合的な学習「知ろう ふれあおう 芦刈町」で海苔について学びました！

海苔巻き体験をしよう！ 6/18

芦刈漁協女性部の方々に、朝早くから集まっていたいただき、調理実習の前準備からご協力いただきました。

子供たちは、ボランティアの先生方に教えてもらいながら、楽しく海苔巻きロールサンドを作りました。みんなとても上手で、見た目もきれいな海苔巻きができました。自分達で作ったロールサンドを試食した子どもたちは、「美味しかった！家でも作ってみたい！」と笑顔で話していました。

最後は、先生方の肩をもんだり、楽しくおしゃべりをして交流を深め、大いに盛り上がりました。芦刈の海苔のよさを改めて感じる事ができました。



海苔づくりについて知ろう！ 6/26

10名の芦刈漁協青年部の方々にご協力いただき、有明海(主に海苔の作られる工程)について教えていただきました。

はじめに、海苔の種付けから乾燥させて出荷されるまでの流れを説明していただきました。

次に、実際に使用されている機械や網に触らせてもらいました。子どもたちも興味津々で、その後の質問タイムでも、青年部の方々に熱心に質問をしていました。

授業の最後に、貴重な一番海苔をその場で焼いてもらい、品質、収穫量ともに全国1位の佐賀海苔をみんなで試食しました。子供たちは大変おいしい海苔がどうやって作られるのかを知り、海苔への興味を強めていました。

